

Independent

令和4年11月1日 発行

No.8

美瑛町すだちの教室通信



～困っていることを伝えられる子に～

将来わが子が困らないようにしてあげたい。そのためには、あれも、これもできるようにしておかなくてはいけないと考える保護者の方がいらっしゃるかもしれません。

でも、大切なのは「困らないようにする」ことよりも、「困ったときに助けを求められる」ことです。

授業中に分からないことがあったら「先生、ここが分かりません」と言えば教えてもらうことができます。頭が痛かったら「先生、頭が痛いです」と言えば、保健室で休むことができます。分からないことも、頭痛も、その子が自分から言わない限りは分かりません。

自分から「困った」と言えるようになるには、助けてもらった経験を積むことです。

子どもは自分から「困った」とは、なかなか言えません。「どうしたの?」「できないの?」と子どもが伝えやすい雰囲気をつくるといいでしょう。大人が子どもの気持ちを聞き、困っている状況を子どもが伝えられるようになるのもコミュニケーション力です。

なんでも1人でできる完璧人間じゃなくていい

「おれは剣術を使えねェんだコノヤロー!!!

航海術も持ってねェし!!! 料理も作れねェし!! ウソもつけねェ!!

「おれは助けてもらわねェと生きていけねェ自信がある!!!」



『ONE PIECE』モンキー・D・ルフィのセリフです。ルフィは船長ですが決して完全無欠ではありません。それぞれ得意分野のある仲間がいるから海賊として冒険が出来るのです。

自分の得意なこと苦手なことを知り、苦手なことは得意な人に助けてもらう、そんな力を育てていきたいと思っています。



『ONE PIECE』 第10巻 第90話「何が出来る」より

〈11月の予定〉